



# Biz Com

<http://www.rikkyo.ac.jp/sindaigakuin/bizsite/graduate/bizcom.html>

2018年初夏号  
— 多様性のあるRBSへ —

2018  
VOL.57

## CONTENTS

01 巻頭インタビュー 沢柳 知彦教授

02 修了式・謝恩会

03 入学式・懇親会

04 新任教員の紹介・JBCC2018

05 RBS生による授業紹介

06 RBSだより

07 研究会紹介

08 2017年度退任教員挨拶



立教大学大学院ビジネスデザイン研究科 教授

## 沢柳 知彦

Tomohiko Sawayanagi

### 「リスクを取らないリスク — リスクを知って、リスクを取る」

今号では、2017年度に着任された沢柳先生にインタビューを行いました。ホテル投資専門家である沢柳先生に、投資視点からの修士論文、ダイバーシティに対しての知見及び学生に伝えたいメッセージ等を伺いました。



#### —先生の自己紹介と大事にしている価値観を教えてください

私は石油精製事業などのプロジェクトファイナンスに憧れ、日本長期信用銀行（以下、長銀）に入行しました。銀行勤務の11年のうち、不動産融資やホテル投資を担当し、専門領域として会社派遣でコーネル大学ホテル経営学部（通称：ホテルスクール）に留学しMMH (Master of Management in Hospitality) を取得しました。そのあとバブル崩壊の影響で長銀が潰れ、証券会社を経て、現職に至ります。現在、ジョーンズ ラング ラサール日本法人でホテルズ&ホスピタリティグループを統括しています。

私の好きな言葉は、ファンドマネジャーの堀古栄治氏の著作のタイトルにもなっている「リスクを取らないリスク」です。日本人はリスクを取りたがらない方が多いです。しかし、リスクを取らないと利益を得る事が難しい (no risk, no return)。取れるリスクを精査して取ることが、結果的には利益に結びつくという信念を持っています。

#### —先生がご担当している「ホテルマネジメント」と「ホテルインベストメント」について、ご紹介をお願いします

「ホテルマネジメント」はホテル経営者側、「ホテルインベストメント」はホテル不動産投資家側から、同じホテル事業を異なる角度から見ることでホテル事業の科学的な経営・投資とは何かを明らかにします。

専門性の高い科目ではありますが、基礎科目の財務、会計、マーケティング、ヒューマンリソースなどにも触れる内容になっていますので、受講を通じて自分の苦手な分野を見つけやすいと思います。また、投資に関する内容は実務に直結していることも多く、不動産投資に興味を持つ方は是非受講してください。

#### —インベストメントの視点から、ビジネスデザインとビジネスリサーチに対するアドバイスは？

ビジネスデザインは「起業」の視点ですから、研究において大事な

のは2点です。

1点目は、「ビジネスモデルを数字に反映させられるかどうか」。2点目は「投資リターン予想はどれぐらいなのか」。要するに、「利益が出る仕組み」を検証する姿勢が大切です。

ビジネスリサーチは事業研究ですから、まず多角的・多面的な捉え方が必要となります。そして、仮説を立てて検証する、という姿勢が大事です。

#### —今年度も3割以上の学生が外国人留学生となり、ダイバーシティを具現化しているRBSに対して先生はどのような期待をしていますか？

まず、ダイバーシティというのは、国籍のみならず、年齢、職歴、性別、人種といったバックグラウンド的な多様性です。ただ、単に多様性が存在するだけでは新しいものは生まれません。

まずは、お互いの違いを理解し、そのうえで同じ問題に対して違う視点を持って臨むことで、授業の「場」としての機能が最大限に生かされます。かかる意味で、「互いに発言し、理解しあう」姿勢は極めて重要だと考えています。

また、皆さんとの講義を通じて、私も常に勉強になっています。多様なバックグラウンドの院生から多様な質問が出ることで、私の対応力も磨かれます。

#### —先生が最近関心を持つものの中で、学生に伝えたいものは？

前掲の「リスクを取らないリスク」の対になる言葉で、「リスクを知らないリスク」も意識してほしいです。関心事の周辺にあることにも関心をもつことで関心事に関するリスクをより深く理解したり、新しい発見があったりします。RBSでの勉学を通じて、リスクを知ったうえでリスクを取れる社会人になっていただければと思います。

取材記事/16期生 劉 曉曉